

# 第二期 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 評価分析シート

### 令和2年度

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標(KPI)		基準値	年度目標値				
			基準値	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
○○○○活用件数  (項目の説明)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	6件 (延6件)				
	延20件	達成度	A				
1	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標を超える6件の活用があった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
	担当課	○○課					
	備考						

総合戦略における基準値及び令和6年度の最終目標値

令和6年度の最終目標値達成に向けた各年度の目標値及び実績値

**【年度目標値】**  
目標値(令和6年度)達成に向けた各年度の目標値

**【実績値】**  
各年度末での実績値(本年は令和2年度について記入)

**【達成度】**  
年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度  
※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

**【令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組】**  
令和2年度の取組とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

**【備考】**  
過年度における修正内容、今年度における修正(案)などについて掲載。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの
達成済	計画の策定や施設の整備など、過年度においてすでに目標値を達成したもの

進捗状況 = 実績値 ÷ 年度目標値 の数値(%)

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、  
年度目標値 ÷ 実績値 の数値(%)

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
生産年齢人口の割合	62.7% (令和元年における推計)	61.9%				60.8%
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	【令和3年3月末日】 (15歳以上65歳未満人口 37,176人) ÷ (下野市総人口 60,053人) ≒ 61.9% ※栃木県毎月人口調査報告書(令和2年10月1日現在の数値)によると、栃木県全体では59.0%であり、下野市(61.8%)は県内4位である。					
市内事業所における従業者数	24,295人 (H26 (2014)年)	—				24,485人
【数値目標の説明】 市内事業所に勤務する従業員数(経済センサスー基礎調査)の増加を図る。	令和2年度の経済センサスー基礎調査が令和3年度中に公表予定					

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
制度融資新規活用件数	163件	目標値	170件	180件	190件	195件	200件
	最終目標値	実績値	183件				
	200件	達成度	A				
1	令和2年度の実績と取組の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新たに創設した「新型コロナウイルス感染症経営安定化資金」の新規申込みが多数あり、結果、目標を大きく超える件数となった。					
	担当課	商工観光課					
	備考						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
空き店舗奨励金等活用件数	4件	目標値	3件 (延3件)	3件 (延6件)	3件 (延9件)	3件 (延12件)	3件 (延15件)
	最終目標値	実績値	4件 (延4件)				
	延15件	達成度	A				
2	令和2年度の実績と取組の分析及び今後の取組	「中小企業支援ガイド」として各種補助金や融資制度をまとめた冊子を令和元年度から作成しているが、令和2年度は内容を更新して改めて情報発信したことで、制度が浸透し利用が進んだと考えられる。今後もホームページ等を活用して情報発信を図っていきたい。					
	担当課	商工観光課					
	備考						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
3	雇用奨励金活用件数 (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
		最終目標値	実績値	10件 (延10件)				
		延20件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	「中小企業支援ガイド」として各種補助金や融資制度をまとめた冊子を令和元年度から作成しているが、令和2年度は内容を更新して改めて情報発信した。ここ数年は申請件数が増加傾向にあり、制度が徐々に浸透してきたものと思われる。今後もホームページ等を活用して情報発信を図っていききたい。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4	創業資金利用件数 (創業・女性企業家資金の活用件数)	7件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
		最終目標値	実績値	4件 (延4件)				
		延20件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	起業を検討している市民が参加する「創業塾」において当該融資制度について説明を行うことで、起業意欲の高い市民に対して制度の周知を図った。今後も起業を目指す市民が必要な資金を調達できるよう、ホームページ等を利用し広く制度を周知していく。						
担当課	商工観光課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5	市内農産物直売所の販売額	9億円	目標値	9.4億円	9.8億円	10.2億円	10.6億円	11億円
		最終目標値	実績値	8.8億円				
		11億円	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響や、周辺地域に道の駅など同様な施設が整備されたことなどが要因で目標を達成することが出来なかった。なお、販売額を伸ばすため売上が伸びない直売所に対し経営診断を実施しするなどの取組を行い市内農産物直売所の販売拡大に努めてきた。 今後は、競合する施設も増える中、消費者ニーズに合った品揃えや新たな魅力ある農畜産物の開発などを積極的に行うとともに、売り上げが伸びない直売所に対する経営改善もあわせて実施する。						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
6	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	290人	目標値	292人	294人	296人	298人	300人
		最終目標値	実績値	293人				
		300人	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	農業者が減少する中、地域の担い手となる認定農業者の発掘に積極的に行ってきた結果、目標を達成することが出来たが、認定農業者の高齢化に伴う経営改善計画の未更新などの影響により認定者が伸び悩んでいる状況が続いている。 今後も認定農業者のメリット等の説明を十分に行い、新規認定者の掘起こしと既存認定者と後継者による共同認定により認定者数の増加を図っていく。						
担当課	農政課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
7	新規就農者数 (年間) (独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した農業者数)	9人/年	目標値	10人	10人	11人	11人	12人
		最終目標値	実績値	11人				
		12人/年	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新規就農者数については、積極的な取組により目標を達成することが出来た。今後も新規就農希望者の掘起こしについては、県農業振興事務所の取組と連携し情報を共有するとともに、就農相談及び就農支援などを積極的に行う。						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
8	担い手への農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	50%	目標値	52%	54%	56%	58%	60%
		最終目標値	実績値	53%				
		60%	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	地域の担い手のとなる認定農業者等への集積計画である人・農地プランに基づきほぼ目標を達成することが出来た。今後は、実質化された人・農地プランにより市農業公社と連携を図りながら、農地中間管理機構を活用した集積を積極的に推進して行く。						
担当課	農政課							
備考								

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
転入者数	2,339人	2,277人				2,572人
【数値目標の説明】 合併後は2,400人を上回る転入者数であったが、最近の5年間の転入者数の平均は2,331人である。毎年度2%の転入者増を目標に、5年後10%の転入者増を目指す。	令和2年（1月～12月）の転入者は2,277人であり、昨年より63人減であった。					
東京圏からの転入者数	468人	476人				514人
【数値目標の説明】 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数は、過去5年間の平均が462人であった。毎年度2%の転入者増を目標に、5年後10%の転入者増を目指す。	令和2年（1月～12月）の東京圏からの転入者は476人であり、昨年より19人の増であった。					
観光入込客数	231万人	1,797,291人				271万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	新型コロナウイルス感染症の影響で、休館や時短営業等で市内一番の観光客が来訪する道の駅しもつけが前年比7万人以上減少してしまった。また、市を代表する天平の花まつり・芋煮会・燈桜会など大規模イベントが中止になってしまったことや、しもつけ風土記の丘資料館が改修工事で閉館していたことなどから、大幅な減少となった。					

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
9	移住相談件数	39件	目標値	60件	70件	80件	90件	100件
		最終目標値	実績値	13件				
		100件	達成度	D				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により東京圏での移住相談イベントがすべて中止となり、オンラインでのイベントには積極的に参加したが例年を大幅に下回った。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、積極的に移住イベントに参加し、市のPRをしていきたい。						
	担当課	総合政策課						
	備考							
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
10	土地区画整理事業整備面積（全体面積 502.7ha） （事業費ベース進捗率による整備面積）	477.8ha	目標値	482.8ha	485.4ha	491.4ha	497.4ha	502.7ha
		最終目標値	実績値	482.8ha				
		502.7ha	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	仁良川地区土地区画整理事業区域において、道路築造・宅地造成・公園整備・物件移転補償などを実施した結果、前年度比5.0ha増の482.8haとなった。今後も目標値である502.7ha達成のため、引き続き居住環境の向上と良好な宅地の供給を図り目標達成に向けて事業促進を図っていく。						
	担当課	区画整理課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
11	新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助の件数)	延30件	目標値	13件 (延13) 16件 (延16)	15件 (延28) 16件 (延32)	15件 (延43) 16件 (延48)	15件 (延58) 16件 (延64)	15件 (延73) 16件 (延80)
		最終目標値	実績値	17件				
		延73件 延80件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市HPに制度活用についてのQ&Aを掲載し、移住者向けサイトへの情報掲載など、分かりやすく、幅広い周知を行った。今後も継続して制度周知を行う。						
	担当課	都市計画課						
	備考	※新規住宅取得者家庭菜園整備補助についてはR2年度で終了したため、定住促進住宅新築等補助件数のみの目標値に修正。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
12	永住促進保留地等購入補助件数	0件	目標値	5件 (延5件)	5件 (延10件)	5件 (延15件)	5件 (延20件)	5件 (延25件)
		最終目標値	実績値	9件 (延9件)				
		5件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	定住促進制度とともに周知を行い、多くの申請があった。今後も継続して制度周知を行う。						
	担当課	都市計画課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
13	空き家バンク登録件数	8件	目標値	1件 (延10件)	6件 (延16件)	6件 (延22件)	6件 (延28件)	7件 (延35件)
		最終目標値	実績値	1件 (延10件)				
		延35件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	広報やHPにて空き家バンク制度と関連する各種補助制度の周知を行った。空き家バンク登録数を増やすことを目的とし、「下野市空き家バンク登録推進奨励金交付制度」を創設した。(令和3年度より運用開始)						
	担当課	都市計画課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
14	住民1人当たり都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を市内人口で除した面積)	15.65㎡	目標値	16.88㎡	16.88㎡	16.88㎡	16.88㎡	17.00㎡
		最終目標値	実績値	16.89㎡				
		17.00㎡	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	公園施設の危険箇所等について迅速に対応し適正な維持管理に努めた。現時点において新規の公園整備計画がないため、既存施設等を良好な状況で維持管理していく。						
	担当課	都市計画課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
15	下野市観光協会 HPアクセス数  (観光協会ホームページの年間アクセス数)	33万6千件	目標値	33万7千件	33万8千件	33万9千件	34万件	34万1千件
		最終目標値	実績値	23万6千件				
		36万6千件	達成度	C				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光関連のイベント中止が多かったこともあり、アクセス数が目標値に達しなかった。今後は動画など、魅力ある発信を増やすことで市及び観光協会のPRに努める。					
担当課		商工観光課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16	道の駅しもつけ利用者数  (買い物等の市内外の年間利用者数)	215万人	目標値	220万人	230万人	240万人	245万人	250万人
		最終目標値	実績値	202万人				
		250万人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		利便性を向上し、更なる集客を図るため店内の改修工事や駐車場の拡張工事を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による営業自粛(5/3~5/6)や時短営業(4/25~8/31)により基準値よりも利用者数が減となったが、今後も(株)道の駅と連携しながら施設の整備をすることで、利用者数の増加を図る。					
担当課		商工観光課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
17	関係人口関連事業へのイベント参加者数	—	目標値	50人	60人	70人	150人	200人
		最終目標値	実績値	90人				
		200人	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		当初予定していた関係人口関連イベントは新型コロナウイルス感染症の影響ですべてオンラインイベントとなったが、普段参加できない遠方の方や、子育て世代の方がオンラインイベントになったことで参加しやすくなったことにより、目標値を大幅に上回った。令和3年度も関係人口創出に向けたイベントを開催し、市の魅力を伝えていきたい。					
担当課		総合政策課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
18	シティプロモーションサイトへのアクセス数  (シティプロモーションサイト「プチハピしもつけ」への年間アクセス数)	27,600件	目標値	28,200件	28,800件	29,400件	30,000件	30,600件
		最終目標値	実績値	26,917件				
		30,600件	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		アクセスした人の所在を解析すると、令和元年度は約7割が県外からであったが令和2年度は6割に減少しており、コロナ禍の影響により来訪に制限があったため県外からのアクセス数が減少したのではないかと考えられる。今後は情勢をみながら、WEB広告などで県外向けの認知促進を図りたい。					
担当課		総合政策課						
備考								

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	96.3%	98.2%				97.0%
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。					
出生数	403件	—	—	—	—	453件
【数値目標の説明】 戸籍法の届出により届け出られた出生の数（厚生労働省人口動態統計）	令和2年度の人口動態統計は新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年2月下旬に公表予定					
結婚件数	235件	—	—	—	—	260件
【数値目標の説明】 年間に届出のあった婚姻した日本人の件数（厚生労働省人口動態統計）	令和2年度の人口動態統計は新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年2月下旬に公表予定					

重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
19	両親学級参加率	59.3%	目標値	59.7%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%
		最終目標値	実績値	59.7%				
	（妊娠届出者に対する両親学級の参加率）	60.0%	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦（385名）のうち、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は59.7%（230名）5/10現在であった。両親学級に参加する必要があると判断したケースは教室に参加するよう勧奨の連絡をし妊婦の状況を確認している。 参加に直接つながらなくとも、連絡をすることにより相談につながり情報提供することができた。令和2年度は新型コロナウイルスの流行により、病院の両親学級の中止、参加人数制限、市の教室も人数制限を設け、個別対応した。						
担当課	健康増進課							
	備考	今回または前回の妊娠中に市または病院の両親学級に参加した人を本市で赤ちゃん訪問を受けた市民の産婦数で除した数。 赤ちゃん訪問時に把握しており、3月末生は訪問時期が5月になるため5/10現在の報告とした。						
重要業績評価指標（KPI）		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
20	不妊治療助成件数	119件	目標値	119件	119件	119件	119件	119件
		最終目標値	実績値	90件				
	（保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数）	119件	達成度	C				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度は、特定不妊治療について、時限的な年齢制限の引き上げ及び助成回数の拡大（出産ごとに助成回数をリセットできる）を行った。また、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響から不妊治療を控える方が多かったため実績値が例年より低くなっていると思われる。今後、特定不妊治療の助成内容が変化していくと予想されるので、不妊治療を希望している方への周知を図っていく。						
担当課	健康増進課							
	備考							



重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
21	産後ケアサービス提供施設数 (生後4か月未満の母子が利用できる産後ケアサービスの事業所(医療機関等)の数)	—	目標値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
		最終目標値	実績値	3箇所				
		6施設	達成度	C				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		医療機関と助産院と契約しており、主に助産院を利用している。妊娠届や両親学級時には里帰り先や契約以外の病院や助産院でも契約可能であることを周知している。今後は、妊産婦のニーズに合わせて随時契約を進めて行く。					
担当課		健康増進課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
22	放課後児童クラブ待機児童数	0人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人				
		0人	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により、利用実績に応じた保育料徴収や利用自粛を促した結果、利用者数は例年より減少している。現在実施されているワクチン接種が進み新型コロナウイルス感染症が落ち着いたときに利用者の増加が見込まれるため、今後、入所予定数を早期に把握し、学童保育室の増設等を検討できるよう令和4年度の入所申込から受付期間を例年より1か月前倒しすることとする。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
23	保育所待機児童数 (保育施設への入所を希望したが、入所できず待機している児童数(4月1日現在))	3人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人				
		0人	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		わかさ保育園の定員を令和2年度に60名から70名に増員した。また園舎を平成31年度・令和2年度の2か年事業で建替えたことにより定員を令和3年度からは90名に増員する。0~2歳児の提供体制が不足がちになっているので、私立保育所等の増築等や公立保育所の保育士確保により受け皿を拡充していく必要がある。					
担当課		こども福祉課						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
24	児童館利用者数  児童館の年間利用者数	30,046人	目標値	30,450人	30,840人	31,230人	31,620人	32,000人
		最終目標値	実績値	18,348人				
		32,000人	達成度	C				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		新型コロナウイルス感染症の感染拡大、緊急事態宣言の発出等により、児童館の休館及び入場制限等により利用者数が激減した。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を勘案しながら、3世代交流や地域内の交流推進事業への取組を実施する。					
担当課		こども福祉課						
備考								

基本目標④ 「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
幸せだと感じている市民の割合	77.0%	—	—	—		80.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合	意識調査は令和5年度実施予定					
住みやすいと感じる市民の割合	86.7%	—	—	—		90.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合	意識調査は令和5年度実施予定					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
25	健康マイレージ参加者数	452人	目標値	463人	475人	486人	497人	510人
		最終目標値	実績値	436人				
	市健康マイレージ事業への参加者数	510人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市民にがん検診受診と健康習慣の定着を促すことを目的とした事業であり、普及のために集団検診受診者やポイント対象事業参加者全員にポイントカードを配布する。また事業自体の魅力向上のため景品の内容を充実させる等の取組を行ってきた。令和元年度・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数が減少した。そのため、事業への参加を廃止し、健診と健康チャレンジのみで実施。参加者は令和元年度より増加した。また、事業に初めて参加・健康づくりのために参加した者も増加した。さらに、健康チャレンジではチャレンジ目標を約82%の方が継続している。今後も事業の周知・普及に取り組み、事業の効果についても検証していきたい。						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
26	地域ふれあいサロンの設置数	40か所	目標値	40か所	60か所	65か所	70か所	75か所
		最終目標値	実績値	55か所				
	市内の地域ふれあいサロン数	75か所	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～6月、1月～3月の計6か月間は活動自粛となった。7月の再開時には地域包括支援センター、社協、高齢福祉課の職員にて各サロンを訪問し、感染防止の注意喚起を行った。 また、コロナ自粛による参加者の体調変化や心配ごとの聞き取り調査を行い、状況把握に努めた。コロナの影響もあり活動休止のサロンも出ているが、新規サロンの開設もあり、R2年度末時点で55か所となっている。 サロンの更なる充実を図るため、サロンの無い地域での新規開設に力を入れて取り組んでいく。						
担当課	高齢福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
27	認知症サポーター数	7,881人	目標値	500人 (延9,800人)	550人 (延10,350人)	550人 (延10,900人)	550人 (延11,450人)	550人 (延12,000人)
		最終目標値	実績値	92人 (延9,389人)				
	(認知症サポーター養成講座の受講者数)	延12,000人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催期間は3か月(10月-12月)のみで、開催回数は8回(地域サロンや薬局で開催)、92人受講。学校等の大人数が参加する講座は開催自粛となった。 サポーター養成講座受講修了者の希望者を対象にした「認知症ステップアップ講座」は開催中止。 チームオレンジしもつけ(認知症施策のボランティア)は、認知症カフェ(オレンジカフェ)等で活動している。 今後も感染状況に応じながら各種養成講座等を実施し、積極的に認知症本人や家族、地域のニーズを把握できるよう、チームオレンジしもつけの活動の幅の拡充を図り、より地域に馴染む関係構築を図りたい。						
担当課	高齢福祉課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
28	就労系サービス利用者数	142人/月	目標値	158人/月	164人/月 162人/月	170人/月 165人/月	175人/月 167人/月	180人/月 170人/月
		最終目標値	実績値	174人/月				
	(就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	180人/月 170人/月	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	障がい者の一般就労に向けた支援として、訓練の場の提供等サービスの給付を実施し、就労継続支援A・B型事業所の利用者が増加した。 一人でも多くの利用者が、一般就労につけるよう継続して支援を実施する。						
	担当課	社会福祉課						
	備考	第6期障がい者福祉計画に基づく修正						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
29	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数	14世帯	目標値	16世帯	17世帯	18世帯	19世帯	20世帯
		最終目標値	実績値	14世帯				
	(就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	20世帯	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	就労支援員による伴奏型支援として相談、ハローワーク同行・助言等を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響により求職活動が積極的に出来ない状況であった。また有効求人倍率は下がり続けているため、就労による自立を図ることが出来た世帯は目標値を下回る結果となった。 今後ますます有効求人倍率が上昇する見込みは少ないが、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労による自立に向けた支援を実施していく。						
	担当課	社会福祉課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
30	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(小学校)	3.23	目標値	3.23	3.23	3.24	3.24	3.25
		最終目標値	実績値	3.11				
	(とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00)	3.25	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度は、新学習指導要領の実施に伴い、教職員が学習評価等への理解を深められるよう、学習指導主任を対象とした研修会や、希望者を対象とした「パワーアップ講座」を実施した。実績値を算出するための指標とした13項目のうち、6項目が前年度より低下する結果となった。特に「将来の夢や目標をもっている。」については、小学校4、5年生共に前年度より0.16ポイントの大幅な低下となり、コロナ禍での生活状況の変化に多くの児童が不安を抱えていたと考えられる。今後も、児童一人一人に寄り添った指導・支援の充実が求められる。一方、「人と話すことは楽しい。」の項目は、どちらの学年も前年度を上回った。感染症対策により教育活動に制限がある中でも、児童がお互いの考えを伝え合う場を設定できるよう工夫改善を図っていく必要がある。						
	担当課	学校教育課						
	備考	○令和2年度とちぎっ子学習状況調査：令和2年7月15日(水)市内11小学校 第4学年・第5学年が実施 ○全国学力・学習状況調査：新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため中止						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
31	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(中学校)	3.07	目標値	3.07	3.08	3.09	3.09	3.10
		最終目標値	実績値	3.05				
	(とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00)	3.10	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年度は、令和3年度からの新学習指導要領の実施に伴い、教職員が学習指導要領の改訂事項や学習評価等への理解を深められるよう、指導主事が各中学校を訪問し、教科担当者への伝達を実施した。実績値を算出するための指標とした13項目のうち、9項目が前年度を上回っており、実績値は前年度を0.01ポイント上回った。特に「将来の夢や目標をもっている。」「できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている。」については上昇率が高く、臨時休業の期間中も、多くの生徒が目標を設定し、社会的自立への意識を継続しながら過ごしていたことがうかがえる。一方、「自分の行動や発言に自信をもっている。」については、0.1ポイントの低下となった。生徒の自己肯定感や自己有用感を高められるよう、生徒の思いに寄り添った支援や、活躍の場を積極的に設定していくなどの工夫が必要である。						
	担当課	学校教育課						
	備考	○令和2年度とちぎっ子学習状況調査：令和2年7月3日(金)市内4中学校 第2学年が実施 ○全国学力・学習状況調査：新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため中止						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
32	講座・講演会の年間受講者数	9,350人	目標値	9,350人	9,400人	9,500人	9,600人	9,700人
		最終目標値	実績値	1,585人				
	(生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	9,700人	達成度	D				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルスの影響により、公民館まつりや生涯学習情報センターまつり、各種講座などが中止となったため、目標値を大幅に下回った。 令和3年度も講座・講演会を企画しているので、感染状況を見極めながら実施していく。						
担当課	生涯学習文化課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
33	スポーツ施設の利用者数	637,000人	目標値	640,600人	644,200人	647,800人	651,400人	655,000人
		最終目標値	実績値	478,829人				
	(スポーツ施設の年間利用者数)	655,000人	達成度	C				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	国体でハンドボール競技の会場となる石橋体育センターにおいて、照明のLED化やアリーナ床修繕等を実施した。また、老朽化した国分寺B&G海洋センタープールにおいて、プール缶体防水等の改修を実施した。 施設の改修の他、新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設閉鎖により利用者数が減少したが、今後も、引き続き適正管理に努め、利用者が安心して利用できる安全な施設を提供することで、利用促進を図る。						
担当課	スポーツ振興課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
34	グリムの森・グリムの館の来園者数	157,523人	目標値	79,800	161,600	163,600	165,600	167,600
		最終目標値	実績値	15,720				
		167,600人	達成度	D				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【R2取組】施設の長寿命化を図るため改修工事を実施した。 目標来園者数においては、6ヶ月に渡る工事を考慮し設定目標を半減した数値で設定している。 【分析】新型コロナウイルス感染拡大防止をするため、事業の縮小及び中止により目標来園者数には達成しなかった。 【今後取組】文化事業の幅広い展開として、ボランティア活動、広報宣伝、利用者開拓、グリム童話関連施設としての情報ネットワーク、市との協働事業等、また、利用者ニーズに合わせたイベントを開催していく。						
担当課	生涯学習文化課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
35	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館入館者の合計	30,500人	目標値	30,500人	30,875人	31,250人	31,625人	32,000人
		最終目標値	実績値	5,222人				
		32,000人	達成度	D				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症による臨時休館やしもつけ風土記の丘資料館の改修工事による休館（令和2年8月17日から令和3年5月1日）等により来館者の人数が激減した。このため、下野薬師寺歴史館では、例年実施している史跡まつりの実施方法の見直しを行い、下野薬師寺跡国史跡指定100周年パネル展を2月20日より開催し、結果的に2月の来館者数としては過去最高の862人を記録した。令和3年度は、しもつけ風土記の丘資料館のリニューアルオープン（5/2）や下野薬師寺歴史館が開館20周年を迎えることから、コロナ対応をした事業実施を進める。						
担当課	文化財課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
36	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	75人	目標値	75人	77人	80人	82人	85人
		最終目標値	実績値	67人				
		85人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアによる解説は実施しなかった。平成29年度より市内全域の文化財を対象としたガイドの養成を目的として「文化財観覧ガイド養成講座」を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。登録者の高齢化に伴って、活動を引退される方も増えていることから、コロナ対応をしながら、今後も継続的に講座を実施するとともに、活動のサポートの充実に努める。						
担当課	文化財課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
37	自主防災組織設置数	8組織	目標値	11組織	12組織	13組織	15組織	15組織
		最終目標値	実績値	11組織				
		15組織	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	自治会長会議での説明のほか、自治会との合同避難訓練等を実施し、自主防災組織の必要性について周知活動を行った。令和2年度に新たに3組織設置となり11組織まで増やすことができた。今後は、自主防災組織の必要性の高い、浸水想定区域を持つ自治会に設置を働き掛けるとともに、防災に関する講話や訓練などを自治会とともに実施していきたい。						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
38	デマンドバス利用者数 (下野市デマンドバス「おでかけ号」の年間延利用者数)	22,401人	目標値	23,520人	24,640人	25,760人	28,000人	29,100人
		最終目標値	実績値	18,823人				
		29,100人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	デマンドバスは下野市公共交通総合連携計画に基づき、誰もが快適に移動できる交通手段として運行されてきたが、この計画が令和2年度に満了になることに伴い、新たなマスタープランとなる下野市地域公共交通計画の策定に併せ、下野市地域公共交通会議において運行形態変更の検討を行った。令和3年度からはセダン型車両への変更、運行台数増台、乗継廃止、AI配車システムを導入し、利用促進を図る。						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
39	1市2町広域連携バス乗降者数 (1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の年間延利用者数)	—	目標値	24,000人 9,000人	25,920人 12,000人	27,840人 15,000人	29,760人 18,000人	31,680人 21,000人
		最終目標値	実績値	22,536人				
		31,680人 21,000人	達成度	B				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和元年10月から実証運行を開始した広域連携バスであるが、令和2年10月、更なる利用促進を図るためゆうきが丘循環線について、より乗車が見込まれるルートへの変更や大松山運動公園に延伸する取組を行った。このほか、ゆうがおバススタンプラリーや、バス絵画コンテスト等、各種利用促進事業を実施したが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出・外出自粛が叫ばれるなど、利用者数は伸び悩んだ。今後も持続可能な地域の公共交通として継続できるよう、利用者の意見や利用実態の分析を行い、より利用が見込めるダイヤへの変更等、見直しを行う。						
担当課	安全安心課							
備考		令和3年3月に策定された下野市地域公共交通計画の目標値(令和7年33,600人)に合わせる形で修正。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
40	市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数  (市民活動補助事業制度を經由から自立し、自主事業を行う団体数であり、各年2団体の移行を見込)	23団体	目標値	25団体	27団体	29団体	31団体	33団体
		最終目標値	実績値	28団体				
		33団体	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	地域課題の解決に取り組む市民活動団体の活性化と自立化を支援するため、平成24年度に開始した市民活動補助事業を継続した。補助団体から自主事業へ移行した団体は令和2年度末時点で28団体となった。今後、市民活動に取り組む団体の活力低下を招かぬよう、感染対策を講じながら活動を進めるための助言等を行っていく。						
担当課	市民協働推進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
41	市ホームページアクセス数  (市ホームページの年間アクセス数)	108万件	目標値	109万件	109万件	110万件	110万件	111万件
		最終目標値	実績値	134万件				
		111万件	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	最新の情報を掲載し、市民が必要とする情報を継続して提供した。特に新型コロナウイルスに関する情報は、迅速な更新に努めた。また、市からの大切なお知らせは、トップページに新着情報として掲載する、Twitterでも並行して発信するなど、利用者の目に留まりやすくなるよう工夫した。						
担当課	総合政策課							
備考		【令和2年】新型コロナの影響により、アクセス数が著しく増加したと考えられる。						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
42	共同連携事業数  (広域連携事業の事業数)	71事業	目標値	71事業	75事業	76事業	77事業	77事業
		最終目標値	実績値	74事業				
		77事業	達成度	A				
	令和2年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	小山地区定住自立圏における小山市との連携事業として、41事業に取り組み、情報交換会等において、事業ごとに設定した成果指標の達成度等について検証したほか、令和3年度からの次期小山地区定住自立圏共生ビジョンについて、これまでの成果を引き継ぎ、より効果的な連携を展開するための計画として策定した。また、下野市・上三川町・壬生町連携会議に関連して、「1市2町広域連携バス実証運行」等を実施しているなど、各種連携を継続している。今後も、連携による事業の効率化・サービスの充実等を図り、定住促進・地域活性化につなげる。						
担当課	総合政策課							
備考								